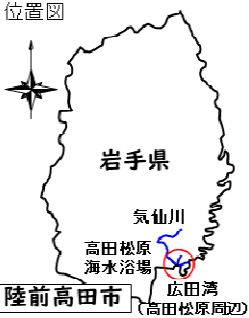


事業名	フレスコボールリクゼンタカタカップ2024	実施場所	岩手県陸前高田市高田松原海水浴場
申請者	一般社団法人日本フレスコボール協会	関連河川名	岩手県陸前高田市高田松原海水浴場
<p>1. 目的</p> <p>本事業は、東日本大震災で津波被災の後に再整備された陸前高田市・高田松原海水浴場を利用し、ブラジル発のビーチスポーツ・フレスコボールのイベントを実施するものです。フレスコボールは、7m離れたペア同士がラケットでラリーを続ける採点型の競技で、相手の打ちやすいところに返す必要があることから、「思いやりのスポーツ」とも言われています。性別・年代・季節を問わない障壁の低さが魅力であり、本イベントを通じて、「水辺でスポーツを楽しむ」文化の醸成・定着を図るとともに、地域内外の交流促進、防災・減災に向けた理解促進・発信を行います。実施は、8月24-25日で、競技大会のみならず、無料体験会、ビーチクリーン、防災・減災に関するコラボリーフレット・HP制作を行う予定です。</p>		<p>5. 創意工夫した点・配慮した点・苦勞した点 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPの閲覧者を増やすため、PRTIMESでのプレスリリースを公開した。 ・リーフレットの内容を充実化させるため、陸前高田市の避難マニュアルを引用し、三陸フレスコボールクラブの監修も行った。 ・イベント認知度を向上させるため、三陸フレスコボールクラブや気仙沼フレスコボールクラブの協力で市内外にポスターの掲示やリーフレットの配布を行った。 ・イベント関係人口を増やすため、若竹太鼓やキッズチアリーディングパフォーマンスをハーフタイムショーとして企画・誘致した。 	
<p>2. 実施体制(結果報告)</p> <p><主たる実施団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 一般社団法人日本フレスコボール協会(事務局) ■ 三陸フレスコボールクラブ、気仙沼フレスコボールクラブ <p><後援></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 陸前高田市、IBC岩手放送、東海新報社 		<p>6. 総評(実施効果や今後期待される効果、今後に向けての反省点・改善)</p> <p>【内容】イベントの「前」「当日」「後」を通じて、本イベントのコンセプトを発信する機会があり、意義のあるものにできたと考えている。</p> <p>【参加人数】選手参加組数は、過去最多の80組。本イベントの趣旨に共感して参加した選手も多数。「防災・減災ミニ講座」では、三陸フレスコボールクラブより避難時のノウハウが示され、SNSなどを通じて「防災・減災」への理解を示す投稿が多数あった。</p> <p>【反響】「東海新報」「岩手日報」「読売新聞」で記事に。また大会翌週にNHK全国放送で「陸前高田×フレスコボール」特集が流れ、本大会にも触れられた。</p> <p>【費用面】予算内でポスター/リーフレット/HPを制作でき、効果的に広報できた。</p> <p>【今後に向けて】「一年を通じたビーチ文化の醸成」を狙いとして、初めて海水浴期間外で実施したが、例年より一般客の観戦・体験が少なかった。地域におけるイベント認知度は高いと感じるため、会場まで足を運んでもらうことが次の課題。</p>	
<p>3. 実施内容(開催日時・場所 など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ フレスコボールリクゼンタカタカップ2024 ・日時: 2024年8月24日(土)、25日(日) ・場所: 岩手県陸前高田市高田松原海水浴場 ・内容: <p>(1) フレスコボール競技大会・無料体験会・ビーチクリーンの実施</p> <p>(2) 「防災・減災」にまつわるコラボリーフレット配布&事前ポスター掲示</p> <p>(3) 大会特設HPに防災・減災にまつわる特集コーナーを設けて公開</p> <p>(4) ハーフタイムにおける三陸フレスコボールクラブによる「防災・減災講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加規模: 会場参加=約200人 リーフレット配布=800部 ポスター=200部 HP=1,000訪問(想定) 		<p>7. その他感想等(ご自由に記入してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸前高田における大会開催は3年目で、地域における認知度定着を実感している。 ・選手においても、リピート参加者が多く、またその参加者が他の選手を誘い、大会参加が増えるという好循環も生じている。 ・大会を通じて「高田松原を守る会」会長にご挨拶できたが、マツを枯らす「クズ」と呼ばれる植物が繁殖し、マツが枯れる被害が起きている話を聞いた。防災・減災というテーマはもちろん、そういった水辺の保全においても、今後のイベント継続を通じて関心を寄せていきたいと改めて考える機会となった。 	
<p>4. 参加対象・参加者数</p> <p>参加対象: 一般、旅行者(市外、県外)、関係機関</p> <p>参加者数: のべ約2200人(3. 実施内容における参加規模合算)</p>		<p>位置図</p> 	
		<p>水辺から地域を元気に 水辺・絆プロジェクト</p>	

(様式7-2)

事業実施報告書(写真)

事業名

フレスコボールリクゼンタカタカップ2024

環境にもやさしい「バンブータンブラー」は大好評	大会MCは、岩手ビッグブルズアリーナMC二宮氏	南は沖縄、北は陸前高田、全国から選手出場
競技後はハイタッチというあたたかなカルチャー	地元野菜などを販売するマルシェも出店	イベントポスターは市内外各所に掲示
「防災・減災ミニ講座」では全選手が耳を傾けた	トロフィーは地元産材「気仙杉」を用いた特製品	「たかのゆめちゃん」も会場に駆けつける

①一般社団法人日本フレスコボール協会

水辺から地域を元気に
水辺・絆プロジェクト